



咽頭結膜熱(アデノウイルス感染症)が確認されました。各家庭で十分ご注意ください。

咽頭結膜熱とはどのような病気ですか？

- ・咽頭結膜熱は、アデノウイルスによって感染する病気です。小児を中心に、主に夏に流行します。
- ・プールでの接触により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもありますが、近年ではタオルの共用が減った等の理由からプール利用における集団感染の報告は見られなくなってきています。

どのような症状に注意すればよいですか？

- ・**39℃前後の発熱**、**咽頭炎**(のどの痛み、発赤など)、**結膜炎**(目の充血、目やになど)を主症状とし、その他リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などが生じることがあります。頻度は高くありませんが、重症化した場合は肺炎などを合併することがあります。

治療法は？

- ・特別な治療法はなく、症状に合わせた対症療法が行われます。目の症状が強い場合は、眼科での治療を行います。
- ・症状は1~2週間でおさまります。

どのように感染するのですか？

- ・アデノウイルスは、**感染力が非常に強いウイルス**です。
- ・患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染(飛まつ感染)、あるいは、目やにや尿・便の中に出たウイルスが付着した手や、タオルなどの患者が触れたものを介して、ウイルスが口や目の中に入ることによって感染します(経口・接触感染)。
- ・プールだけでなく、温泉施設などでの感染も見られます。

咽頭結膜熱 - 症状と予防・対策等 -

咽頭結膜熱の症状等

参照:厚生労働省ホームページ、東京都感染症情報センターホームページ

- 発熱、頭痛、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す
- 高熱が比較的長く(5日前後)続くことがある
- 特別な治療法はないが、ほとんどの場合は自然に治癒する

予防・対策等

- 流行時は、流水とせっけんによる手洗い、うがいをしましょう
- 感染者との密接な接触は避けましょう(タオルなどは別のものを使いましょう)
- プールからあがったときは、シャワーを浴び、うがいをしましょう



- 高熱が続く、ぐったりしている、せきが激しい、吐き気、頭痛の強い時などは医療機関に相談してください

感染の拡大を防ぐには？

- ・アデノウイルスには**アルコール消毒は効きにくい**ため、**石けんと流水でのこまめな手洗い**をしましょう。
- ・むやみに目や口に触れたり、こすったりしないようにしましょう。
- ・患者との密接な接触を避け、タオルの共用はしないようにしましょう。
- ・症状消失後も、約1か月は尿・便からウイルスが排泄されるので、症状がなくなっても、排泄後の念入りな手洗い、排せつ物の処理に注意しましょう。